

③ 案

【見直しの概要】

- ・準備料金への配分割合は 28.8%とする。
- ・②案の条件に加え $\phi 40$ 以上 $\phi 150$ までの中口径から大口径までの準備料金を約 10%から 25%増額する。
- ・水量区画と単価区分は 7 段階 5 区分とし、 $10,001\text{m}^3$ 超え以外の 5 段階 4 区分で単価を減額する。

【見直しの効果】

- ・一般用と集合家事用及び口径 $\phi 13$ と $\phi 20$ の格差は②案と同様に縮小しました。
- ・集合家事用 $\phi 13$ 及び集合家事用 $\phi 20$ と一般用 $\phi 13$ の少量使用者以外では、現状と比べて料金負担は軽減しました。
- ・逡増度は現状より縮小しました。